

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) H.M
所属 (School) 工学域 物質化学系学類
学年 (Grade) 1 年

留学先 (Name of overseas institution)
フランス/トゥール
留学期間 (study abroad period)
2019/8/24~2019/9/17

記入日 (Date) 2019/9/29

留学レポート Study Abroad Report

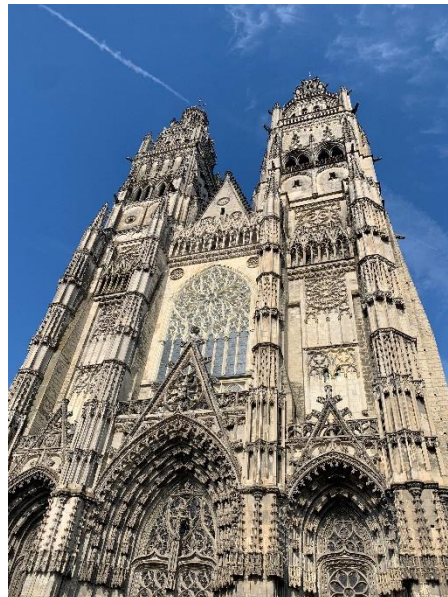
<留学して良かったこと>

今回私は、フランス語学研修プログラムに参加しました。3週間、現地の語学学校に通って、定年退職した一人暮らしのマダムのお家にホームステイしました。その後、帰国前の土曜日はパリに移動して、現地の大学生との交流し、日曜日にはパリを観光しました。行く前は、ヨーロッパに行くのが今回が初めてだったので、とても不安でした。日本を旅立つ直前は、怖すぎてもう行きたくないとも思っていました。行きの飛行機でもフランスに向かっている経路を飛行機のモニターで実感のないまま見ながら、永遠に到着しなくてもいいのになどと考えていました。ですが、今回のフランス語学研修が終わった今、この語学研修に参加できて本当に良かったと思っています。

まず参加して良かったことは、フランス語学研修が私のフランス語学習に良い影響を与えたということです。正直に言うと今回の3週間の留学でフランス語が急激に伸びたとは言いきれません。ですが、日本に帰ってきて単語帳を開くとやはり、あっ、この単語フランスで習った！とか使った！など自分に身につけていることが実感できることはあります。また、自分の今までのフランス語学習において、何が足りていなかったのかも痛感できました。一つは文字です。現地のフランス人はみんな筆記体を使います。私は普段の学習において筆記体を使っていないので、マダムや町中の手書きの文字は筆記体かつ個人のクセも強く、アルファベットを読むのに一苦労しました。もう一つは、発音です。語学学校の先生方は普段からフランス語が母国語ではない人と接しているので、ちょっとくらい違っていても何となくみ取ってくれます。ですが、ホームステイ先のマダムと話すときは、自分では正しいと思っていてもなかなか伝わらなくて歯がゆい思いをすることも多かったです。普段、CDを聞くだけで発音練習をあまりしてこなかったのが、やっぱりそれがいけなかったなと思いました。

2つ目は、フランス語学習以外にも勉強意欲が掻き立てられたということです。フランスという日本とは違う土地で生活していると、日常的に自分はこれ知らないなと思う瞬間があります。特に、フランスについての歴史や宗教、地理的なことは日本に帰ってからしっかり勉強したいと思えました。私の行ったトゥールという街には、大聖堂や教会などがあり、平日の語学学校終わりに行ったり、週末にカトリックのミサに参加したりしました。また、パリで行ったルーブル美術館にはキリスト教が関係している絵画が多くありました。私は受験で世界史を選択していませんでしたが、宗教にはあまり関心を持てなかったのが全然キリスト教についての知識がありませんでした。しかし、フランスで実際にこういう体験をしてみるともっとキリスト教について知りたいと思いました。なので、今までは1回も借りたことがなかったのですが、日本に帰って来てから世界史の本を借りました。

3つ目は、知見が広がったということです。語学学校ではフランス語を学ぶ様々な人がいて、色々な友達が出来ました。違う国の人と話していると、自分の話をしても新鮮なリアクションをしてくれたり、相手の話を聞いていてもなかなか興味深かいこと



が多かったです。中でも印象的だったのはベジタリアンであるという女の子です。彼女は動物たちの無駄な殺生を少しでも減らしたいために2か月前からベジタリアンの生活を始めたそうです。私のイメージでは、ベジタリアンの人は家族全員でベジタリアンだったりするのですが、彼女の家族は普通にお肉を食べるそうです。それもあって驚きました。同い年くらいで、こんなに環境について考えて、自分の食生活をしているという人は今まで出会ったことがなかったので、これまでは遠い存在だと思っていたベジタリアンという存在が身近に感じられることが出来ました。

<フランス語学留学に興味のある人へ>

3週間の留学では、旅行とは全く違う経験を得られます。なんとなく、生活しているなと感ずることが出来ます。最初はビクビクしながら歩いたり買い物をしていましたが、3週間も経つと寄り道したりするのが楽しくなっていました。また、一般家庭にホームステイすると、朝晩はその家族と同じ食生活を体験することが出来ます。これは本当になかなか旅行ではできないと思うのでいい経験になったなと思います。ちなみに朝は、パンとシリアル、牛乳、紅茶などが用意されていて、自分で好きなものを選んで食べていました。夜は必ずフランスパンはでてきます！なので、旅行でもいいやと思っている人にも留学でフランスに行くという魅力をもう一度考えてみて下さい。

語学面で言うと正直、例え全然話せなくても最低限の10フレーズ程度と笑顔があれば何とか生活は出来ます。ですがやっぱりそれだけだと何も楽しくないです。私も最初は、本当に前期授業を受けてたのかなと思うほどに何も話せませんでした。自分の言いたいことが言えなくて、自分を表現することが出来ないのは本当に辛かったです。語学は自分を表現するために学ぶ必要があるのだなと実感しました。私もマダムと話す時はいつも聞き返されていて、1回で伝わることの方が珍しいくらいでしたが、いろんな手段を使ってようやく理解してもらった時はほんとに嬉しかったです。例え、“Je ne comprends pas”や“I don't understand”と言われてもめげずに伝えてみて下さい！Bon courage!

